

令和4年度 草津市水防訓練

6月12日（日）8：20～11：00 草津市防災ステーションにて

出席人数 52名



22年度草津市水防訓練に参加

52名 水防工法など実践

— NPO草津 —

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる「NPO法人 草津の未来を建設する市内業者会（略称「NPO法人草津市内業者会」・理事長＝森川守樹千商代表取締役）は12日、草津市の草津川防災ステーションで

行われた「令和4年度草津市水防訓練」に参加した。草津市水防訓練（主催＝草津市、主管＝草津市消防団、滋賀県南部土木事務所、湖南広域消防局西消防署・南消防署）は、本格的な梅



工のうの積土改良の実践訓練の後、出来栄を講評を受ける参加者ら（画面奥）

雨シーズンを迎える水害の未然防止と軽減を図り、市民生活の安心を確保するため開催。NPO草津からは52名が参加。全員が揃いの黄色いNPOベストと活動服、ヘルメットを着用し、消防団と消防署員、市職員らとの連携のもと、水害の事態に備える確に対応できる水防技術・知識の習得・向上を図るための土の作り・運搬

と水防工法の訓練にあたった。当日はNPO草津に加え消防団員、消防署員、市職員から成る総勢約220名の参加者を前に、橋川渉草津市長らが激励のあいさつを行い訓練がスタート。第1部訓練では説明を受け、約1000袋の土の作りを実施。第2部訓練では水防工法の作業工程の説明の後、4班に分かれ改良積土のう工・積土のう工と釜段工を実践訓練。作業完了後は市長や県南部土木事務所長、西・南消防署長らによる工法出来栄確認も行われた。訓練終了後は使用した土のうを各消防団、備蓄用土のう置き場へ運搬し、いざという時の備えとした。